

生徒会役員立会演説会、投票

9月25日の5、6限目に、生徒会役員立会演説会と投票を実施しました。まず、2年立候補者9人の演説、その後討論会。続いて、1年立候補者8人（一人体調不良で欠席）の演説、その後討論会という流れでした。立会演説会に先立ち、校長として挨拶し、以下のことを伝えました。

- 18人の立候補者のおかげで学校が活気づいていることへの感謝
- 生徒会活動の活性化は、教育目標である生徒主体の学校づくりの中核
- 誰が当選しても大丈夫だという信頼感

討論会は、約15分でしたが、いずれの学年も活気溢れる討論で、2年生「目指す、理想の生徒会活動とは」1年生「目指す、理想の学校生活とは」のテーマで、立候補者全員が自分の熱い思いを伝える時間となりました。直接討論を見ていましたが、発言者が偏らないように配慮しながらも、自分の主張をしっかりとするという、政治家顔負けの討論会で、聞き応えがありました。2年生にいたっては、討論会終了後も物足りず、「討論の続きをしよう」と、場を変えて討論する熱の入りよう。何とも、頼もしい限りでした！

今回の立候補者たちは、今回の経験が大きな成長につながったと思います。

投票では、実際の選挙で使用する記入所と投票箱を使用した本格的な投票でした。



2年生 討論会の様子



1年生 討論会の様子（一人欠席）



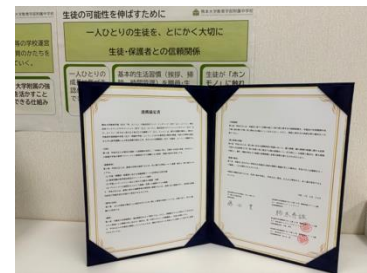
民間企業LMGとの教育連携協定

9月22日に、熊本大学教育学部と株式会社リンクインタラック、株式会社リンクアンドモチベーション、株式会社モチベーションアカデミアの3社（以下LMG）とで、「子どもが最も成長する学校創りに向けた連携協定」を締結しました。教育学部長名での締結ですが、これまでの附属中での取り組みをベースにした連携協定です。

具体的には、今年のPTA響きあい研修「子どもの主体性を引き出す親の関わり方」の講師、職員と生徒との合同研修や学校運営、生徒の成長診断、英語教育へのサポート等、様々なサービスを提供してもらっています。

連携協定によって、LMGがこれまで培ってきた知見を学校教育に活かすことで、生徒の主体性を育む、より実践的で内発的な学びが生まれることを期待しています。これは、企業や大学、同窓会など、教職員以外の多様な方々が教育に関わり、ともに生徒を育てていく——そんな私が理想とする「これからの学校」の姿を、共に築いていきたいと考えています。

[LMGによるプレスリリースはこちら](#)



学校で、LMGの皆さんと

